

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		伸栄学習会キッズブレイン富士見（児発）				公表日 2024年12月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		定期的にスペースと利用定員のバランスを評価し、最適な環境を提供するために調整を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		法令に従い配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		各教室、色分けやピクトグラムを使用して視覚的にわかりやすい環境を整備し、定期的に環境の改善を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の清掃と衛生管理を徹底し、こどもたちが快適に過ごせるよう配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別のニーズに応じて、専用のスペースを確保し、プライバシーに配慮した環境を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		社内研修を定期的に行い、PDCAサイクルの各フェーズに積極的に参画しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		法令に基づき定期的に保護者向けアンケートを実施し、フィードバックを業務改善に反映しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員の意見を定期的に収集し、その内容を分析して業務改善に反映しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在、第三者評価を受けておらず、導入の検討をします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		定期的に職員向けの研修を開催し、必要に応じて外部研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムは定期的に見直しを行い、WEB上で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		個別のアセスメントを実施し、ニーズに基づいた計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下でこどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		複数の職員が連携し、こどもの最善の利益を考慮して計画を策定しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的なミーティングで計画を共有し、全職員が計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		フォーマルおよびインフォーマルなアセスメントツールを併用し、こどもの適応行動を評価しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに基づき、包括的な支援計画を策定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		チームでアイデアを出し合い、バランスの取れた活動プログラムを策定しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		定期的にプログラムの見直しを行い、新しいアクティビティを取り入れています。	

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々のこどものニーズに応じて、個別および集団活動を適切に組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日始業前に打ち合わせを行い、支援の内容と役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に振り返りミーティングを行い、改善点を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録を徹底し、定期的に検証・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		法令に基づき定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画を見直しています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		こどもの状況をよく理解した職員が定期的に会議に参画し、関係機関と連携を強化しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の関係機関と定期的に連絡を取り合い、連携を図ることで、総合的な支援を提供しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関連携を通じ児童の情報や状況を交換しています。必要に応じて助言を求めたり、助言をする取り組みをしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前の利用施設と情報共有を行い、こどもの状況を把握し、適切な支援を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		現時点では児童発達センターとの連携はほとんどありませんが、今後その機会を積極的に作って参ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		機会が皆無というわけではないが、保護者からも取り組んでいるか「わからない」という回答があったため積極的に機会を作って参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			日常的に保護者との連絡を取り合い、こどもの状況を共有しています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			家族支援プログラムや研修機会を提供し、家族の対応力向上を支援しています。

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程や支援プログラムについて、保護者に対して丁寧な説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者の意思を尊重し、子どもの最善の利益を考慮して計画立案し、家族に説明を同意を得ている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画を保護者に提示し、内容を説明した上で同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族からの相談に対して適切に対応し、面談や助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		取り組みは各教室によって異なるためグループ全体として取り組むことができるよう検討を実施します。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応の体制を整備し、迅速かつ適切に対応し遅滞なく行政機関へ報告を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に通信を発行し、SNSやHPを活用して情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		プライバシーポリシーを厳守し、適切に取り扱っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障害のある子どもや保護者との円滑なコミュニケーションを図るための配慮を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民を招待する行事を定期的に開催し、地域に開かれた事業運営を行っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、職員や家族に周知するとともに、訓練を定期的実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、定期的に避難訓練や緊急対応訓練を実施し、職員の安全意識を高めています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前に子どもの健康情報を収集し、個別の対応計画を策定しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的には飲食提供はしていません。もし提供する場合には医師の指示書や保護者からの情報に基づき、アレルギー対応メニューを作成し、適切な食事を提供しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理計画を策定し、定期的に研修や訓練を実施しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		家族との連携を強化し、安全計画の内容を周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事例を共有し、再発防止策を検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を定期的実施し、職員の意識を高めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束は行わないとしています。ただし、必要な場合には3要件の観点、身体拘束の基準を明確にし、保護者と事前に十分な説明を行い、同意を得てから実施します。	